

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	国際連合人道問題調整部 (UNOCHA) 拠出金 (任意拠出金)	担当部局庁	国際協力局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和53年度開始	担当課室	緊急・人道支援課	課長 青木 豊			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅷ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項	関係する計画、通知等	第52回国際連合総会決議52/168(1997年)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国は、国連等の各種人道支援機関を通じた人道支援外交を重視しており、国連人道問題調整部(UNOCHA)は、国際機関等による人道支援活動の総合調整を行っている。本件拠出を通じてUNOCHAによる種々の機関間の総合調整機能を支援することにより、より効果的な人道支援の実現に貢献することができる。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	UNOCHAは、世界各地において大規模な自然災害や紛争が発生した際、各種緊急人道支援機関が、活動の偏りを避けつつ、各機関の専門知識等を効果的に活用できるよう調整を行っている。また、現地事務所において、各国際機関が活動する際の安全対策、国際機関を代表しての支援対象国政府・反政府との支援活動に関する交渉、ハザードマップの作成、統一アピールの作成等人道支援を行う際の基礎となる活動を行っている。さらに、自然災害及び紛争が発生した際、関連情報を24時間インターネット上で迅速に配信するリリーフウェブを実施している。我が国拠出は、これらOCHAの活動を支援するものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	256	234	199	192	190
		補正予算	206	235	365		
		繰越し等					
		計	462	469	564		
		執行額	462	469	564		
	執行率 (%)	100	100	100			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	人道支援の効果的・効率的な実施の実現 (OCHAアピールへの各国拠出)	成果実績	百万ドル	6,942	7,196	5,697	
	(注)機関全体の目標及び実績	達成度	%	71%	64%	64%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①国際社会への支援アピール発出 ②支援国数	活動実績 (当初見込み)	①件 ②国	①23 ②-	①29 ②52	①20 ②-	-
	(注)機関全体の指標及び実績						()
単位当たりコスト	約80.24USD/人	算出根拠	2011年のアピール拠出(US\$57億)÷裨益者(7,100万人)=US\$80.24				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国際連合人道問題調整部(UNOCHA)拠出金	192	190				
	計	192	190				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	OCHAは、国際人道支援活動の総合調整業務を担っており、迅速かつ効果的な人道支援の実施や「人間の安全保障」の実現に貢献していることから、国として支援する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	OCHAは、国際人道支援活動の総合調整、支援ニーズの情報収集、国際社会へのアピール、支援活動の広報等の業務を効果的・効率的に行っている。予算の使途は、真に必要な活動に限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	OCHAは、国際的な人道支援活動の総合調整を行うことで、実効性の高い手段となっている。また、適切な成果目標を立てて、着実な活動の履行に努めている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	ドナー・サポート・グループ会合等の場を通じて、引き通き効率的な事業の実施を求めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		拠出額減額	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減		任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減	
	補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	101	平成23年行政事業レビュー	97